

出、出たあ !? 、イノシシが・・・

令和5年4月17日の夕方、我がまち「西辛川」エリアにイノシシ出没とのメールが届きました。うそっ〜と目を疑いつつ、発信元が確かなところなので、体が震えたのを覚えています。

イノシシの生態をちょこっと調べてみると・・・



イノシシの天敵はいるのか！？

結論 = 日本にはイノシシの天敵となるような動物や生物は現状ほとんど居ません。

昔は、クマとか野犬がある意味イノシシの天敵だった可能性はありますが、一宮にクマはいませんし、野犬も通報により保健所が連れて帰ります。つまり、あえてイノシシの天敵はと尋ねられれば人であるということでしょう。しかしながら、彼ら（イノシシ）は賢い動物でもあります。

田畑を荒し、手塩に掛け育ててきた作物を、遠慮せず「ごっつあんです」と食べてしまいます。

この時期、タケノコが好物であることも多かれ少なかれ影響しているのかもしれませんが。我が家の畑では、夏のスイカ、秋のサツマイモが彼らの餌食となったことがあり、今は所謂「電柵」で対抗してはいるものの、全頭数把握は難しく感覚的には間違いなく増加しているように思います。その証が、今回の出没情報だったのかしれませんね。

じゃあ、このまま手をこまねいていいのでしょうか。彼らは餌を求め、突進する動物とされていますが、実は臆病であるとも聞きます。学習効果があり慣れてくると怖がらなくなり、今後も人里に下りてくると思っておくべきでしょう。猟友会にお願いして適度な駆除に乗り出し、みんなでジビエ料理を味わうのはどうでしょう。そうすれば、彼らの天敵として人が位置づけられること間違いなしで、しかもきちんと下処理したうえで味わえば、これまた格別(笑)。

美味しいよ、シシ鍋、シシコロツケ etc.。さあ、みんなで食べようよ。うっ、しっしっ(^ω^)



注：ジビエとは、野生動物のお肉（フランス語が起源）

ジビエは市販のスーパーなどには置いておらず簡単に購入することができません。

主に、購入することができるのは「猟師直営店・道の駅・ネットショップ」の3つです。